保 証 書

株式会社 カスタム

保 証 規 定

本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、下記の保証規定により保証いたします。

1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じました場合は無償で修理いたします。
2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
3. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。
   - a 不適当な取扱い、使用による故障
   - b 設計仕様条件等をこえた取扱い、または保管による故障
   - c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に起因する故障
   - d その他当社の責任とみなされない故障

機種名	CTH-370AS CTH-370AL	シリアル№	
保証期間	年　月　日 より1ヵ年		
お客様	お名前　様 ご住所 電話番号		
販売店	住所・店名		

販売店様へ　お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡しください。

総合計測器メーカー
株式会社 カスタム
〒101-0021東京都千代田区外神田3-6-12
PHONE (03) 3255-1117 FAX (03) 3255-1137

CUSTOM CORPORATION
6-12, 3-chome, Sotokanda,
Chiyoda-ku, TOKYO, JAPAN 101-0021

2008年2月初版

空調用温湿度計
型番:CTH-370AS
CTH-370AL

取扱説明書

　このたびは、当社のデジタル温湿度計をお求めいただきましてまことにありがとうございます。
　ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保存されることをおすすめします。

安全にご使用いただくために

本製品を安全に、末永くご使用いただくために、以下の事項をお守りください。
　本文内の⚡(危険)は、使用者が感電事故等を起こす可能性を避けるための記号です。また⚠(警告)は、本器を長期間にわたって損傷を防ぎ良好な状態でご使用いただくための記号です。

⚠警告

　温湿度センサー部を手でつかんだり、直射日光にさらしたり、または静電気を印加したりしないで下さい。測定誤差や破損の原因になる場合があります。

⚠警告

　損傷や火災事故防止のため、電子レンジ等マイクロ波加熱炉での温度測定は行わないで下さい。

1.特長

　センサー棒が長いので手の届きにくい場所でも温湿度の測定が簡単に出来ます。
●温湿度のデュアル表示。
●表示部180度可動。
●MAX/MIN機能付。

2.仕様

センサ	(温度)サーミスター (湿度)キャパシタンスセンサー
測定範囲	0～+50℃、20～100%RH
分解能	0.1℃、0.1%RH
測定精度	±1.0℃、±10%RH
サンプリング	1回/5秒
測定範囲外	"－－－"表示
使用温湿度	0～＋50℃、80%RH以下(但し、結露のないこと)
保存温湿度	－10～＋50℃、70%RH以下(但し、結露のないこと)
電源	3Vリチウム電池(CR2032)1個
寸法・重量	CTH-370AS 表示部 :ϕ56mm×45mm センサプローブ :ϕ11mm×133mm CTH-370AL 表示部 :ϕ56mm×45mm センサプローブ :ϕ15.25mm×470mm
付属品	取扱説明書

※電池は原則的に付属しておりません。一部テスト用電池が装着されている場合には早めに新品の電池と交換してください。

3.各部の名称

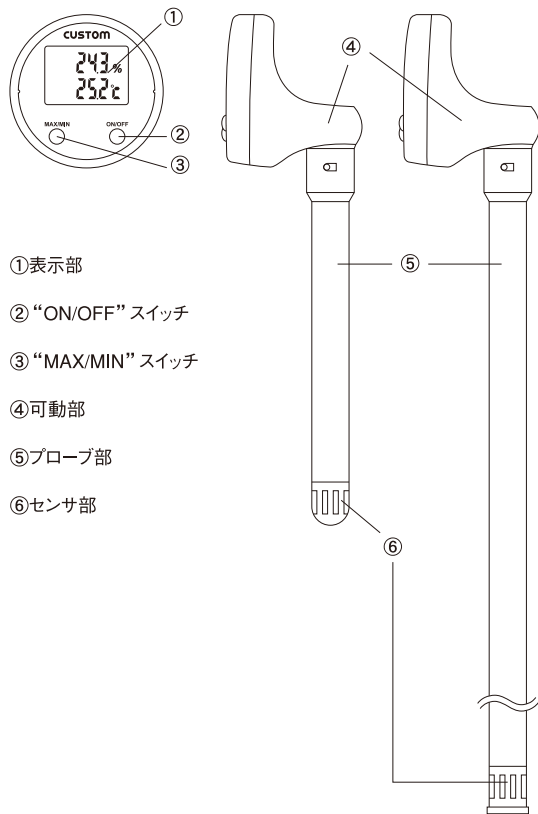
①表示部

②“ON/OFF”スイッチ

③“MAX/MIN”スイッチ

④可動部

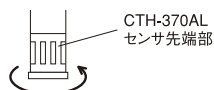
⑤プローブ部

⑥センサ部

4.測定方法

4-1.電源オン

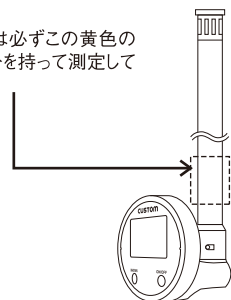
“ON/OFF”スイッチ②を押すと電源が入ります。
（オフする時もこのボタンを押します。）

4-2.温湿度の測定

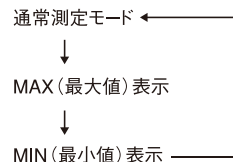
測定前に、CTH-370ALは、センサ部に保護キャップ機能がございますので、センサキャップを回転させ、測定可能な状態にしてから測定を開始してください。

電源を入れ、センサ部⑥を測定対象に近づけて、数値が安定したら測定値を読み取ります。
測定範囲外になると“ーーー”表示になります。

危険

CTH-370ALは、下図のようにプローブ部⑤を上向きで使用する場合は、表示部側を持たずに必ず、プローブ部を手で持って測定してください。プローブ部が長く、重いので、表示部側を持つとプローブ部が倒れ、思わぬ怪我や事故につながる場合がございます。十分にご注意お願い致します。

使用の際は必ずこの黄色のシール部分を持って測定して下さい。

4-3.MAX/MIN機能について

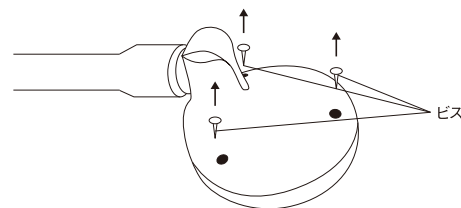
“MAX/MIN”スイッチを押すと、電源を入れてからの温度と湿度のMAX（最大値）とMIN（最小値）の確認がそれぞれできます。

スイッチを押すごとに下記のようにモードが切り替わります。

MAX（最大値）、MIN（最小値）を表示していても、約5秒間操作を行わないと自動的に通常測定モードに切り替わります。

※このメモリーは電源を切ったり、電池を交換するとそれまでのデータはクリアされますので予めご注意ください。

5.電池の交換について

①下図のようにビスを3本外して、裏ケースを外します。

この時に、基盤と裏ケースに接続されているコードを引っ張らないようにご注意ください。
断線すると、測定ができなくなってしまいます。

②電池ケースの溝の部分を矢印の方向に電池をスライドさせて古い電池を取り外します。

③新しい電池（CR-2032 3V リチウム電池）を極性を正しく装填します。
＋（プラス）側を上向きに装填して下さい。

④裏ケースを元の通りに閉じて、ビスをしっかりとめて下さい。